

生命保険講座「生命保険計理」
試験問題【フォームB】
〈2023年度〉

● 注意事項

1. 試験時間は80分です。
2. 試験問題は、全部で50問あります。《100点満点》
問題1から20は、語群の中から適切なものを選ぶ問題《各1点：20点満点》
問題21から25は、正しいものを1つ選ぶ問題《各4点：20点満点》
問題26から30は、誤っているものを1つ選ぶ問題《各4点：20点満点》
問題31から40は、正誤を選ぶ問題《各1点：10点満点》
問題41から50は、適切な組み合わせを選ぶ問題《各3点：30点満点》

一般社団法人 生命保険協会

<付表1> 生保標準生命表 2018 (死亡保険用) (女)

年齢	生存数	死亡数	死亡率	年齢	生存数	死亡数	死亡率
39	98,850	82	0.00083	62	94,282	390	0.00414
40	98,768	87	0.00088	63	93,892	409	0.00436
41	98,681	92	0.00093	64	93,482	428	0.00458
42	98,590	98	0.00099	65	93,054	450	0.00484
43	98,492	102	0.00104	66	92,604	477	0.00515
44	98,390	110	0.00112	67	92,127	510	0.00554
45	98,279	120	0.00122	68	91,616	552	0.00603
46	98,160	133	0.00135	69	91,064	602	0.00661
47	98,027	147	0.00150	↓	↓	↓	↓
48	97,880	163	0.00167	100	7,586.6	2,197.0	0.28959
49	97,717	178	0.00182	101	5,389.6	1,725.8	0.32021
50	97,539	192	0.00197	102	3,663.8	1,293.7	0.35310
51	97,347	205	0.00211	103	2,370.1	920.1	0.38820
52	97,141	219	0.00225	104	1,450.0	616.89	0.42543
53	96,923	234	0.00241	105	833.14	387.10	0.46462
54	96,689	248	0.00256	106	446.05	225.50	0.50554
55	96,441	260	0.00270	107	220.55	120.830	0.54785
56	96,181	273	0.00284	108	99.723	58.951	0.59115
57	95,908	288	0.00300	109	40.772	25.888	0.63494
58	95,620	303	0.00317	110	14.884	10.1008	0.67863
59	95,317	322	0.00338	111	4.7833	3.4515	0.72158
60	94,995	345	0.00363	112	1.3318	1.0162	0.76308
61	94,650	368	0.00389	113	0.3155	0.3155	1.00000

<付表2> 複利表 (複利終価表) 年 1.0%

	期始払終価	期央払終価	期末払終価	期始払現価	期央払現価	期末払現価
1年	1.010000	1.004988	1.000000	1.000000	0.995037	0.990099
2	1.020100	1.015037	1.010000	0.990099	0.985185	0.980296
3	1.030301	1.025188	1.020100	0.980296	0.975431	0.970590
4	1.040604	1.035440	1.030301	0.970590	0.965773	0.960980
5	1.051010	1.045794	1.040604	0.960980	0.956211	0.951466
6	1.061520	1.056252	1.051010	0.951466	0.946744	0.942045
7	1.072135	1.066815	1.061520	0.942045	0.937370	0.932718
8	1.082857	1.077483	1.072135	0.932718	0.928089	0.923483
9	1.093685	1.088258	1.082857	0.923483	0.918900	0.914340
10	1.104622	1.099140	1.093685	0.914340	0.909802	0.905287

* 元金 1 に対して

* 毎年の支払金額 1 に対して

49 [変額保険の仕組み]

次の文章について、下線部AまたはBのいずれかが誤っている場合と、A・Bともに正しい場合とがあります。AまたはBのいずれかが誤っている場合は、誤っている記号と代わって入るものが最も適切な組み合わせを選択してください。A・Bともに正しい場合は、記号Cを選択してください。

変額保険（終身型）の死亡保険金額は、特別勘定の資産の運用実績に基づいて(A)毎日増減する。ただし、(B)基本保険金額を下回ることのないよう保証されている。

ア. A－毎月

イ. A－毎年

ウ. B－既払込保険料累計額

エ. B－変動保険金額

オ. C (A・Bともに正しい)

50 [団体年金の保険料計算]

次の文章について、下線部AまたはBのいずれかが誤っている場合と、A・Bともに正しい場合とがあります。AまたはBのいずれかが誤っている場合は、誤っている記号と代わって入るものが最も適切な組み合わせを選択してください。A・Bともに正しい場合は、記号Cを選択してください。

団体年金の保険料の計算には、一般に、(A)多重脱退残存表が使われる。また、年金制度の財政を維持するための保険料について、主として将来勤務に関連して生ずる費用は(B)特別保険料として積み立てるのが一般的である。

ア. A－解約返戻金額例表

イ. A－標準脱退残存表

ウ. B－通常保険料

エ. B－未経過保険料

オ. C (A・Bともに正しい)

【複利運用】

文中の空欄【6】～【10】に入る最も適切な数値を選んでください。

(3) 元金100万円とした場合、

① 月利率0.1%、1ヵ月複利で運用した場合の半年後の利息は、【6】

円である。(計算過程は小数第7位四捨五入、解答は円未満四捨五入)

② 年利率1.2%、半年複利で運用した場合の5年後の元利合計額は、【7】

円である。(計算過程は小数第7位四捨五入、解答は円未満四捨五入)

(4) 名称利率1.5%、転化回数4回により複利計算した場合、元金1の実利

率は、【8】%である。(解答は小数第3位四捨五入)

(5) 年利率1.3%の複利で5年間運用した場合の年平均利回りは、【9】%

である。(計算過程は小数第7位四捨五入、解答は小数第3位四捨五入)

(6) 年利率1.0%の複利で3年後(期末)に200万円を得ようとする場合、

現在必要な資金は、【10】円である。(計算過程は小数第7位四捨五入、

解答は円未満四捨五入)

45 【養老保険の積立金】

次の文章について、下線部AまたはBのいずれかが誤っている場合と、A・Bともに正しい場合とがあります。AまたはBのいずれかが誤っている場合は、誤っている記号と代わって入るものが最も適切な組み合わせを選択してください。A・Bともに正しい場合は、記号Cを選択してください。

養老保険では、保険年度が進むにつれて保険料積立金が累増するので、

一定金額である保険金から保険料積立金を差し引いた(A)生存保険金は通減する。この通減する(A)生存保険金に死亡率を乗じたものを(B)危険保険

料とみなしても、あまり大きな誤差は生じない。

7. A-危険保険金
7. A-死亡保険金
7. B-死亡保険料
7. B-定期保険料
7. C (A・Bともに正しい)

46 【積立に関する法的規制】

次の文章について、下線部AまたはBのいずれかが誤っている場合と、A・Bともに正しい場合とがあります。AまたはBのいずれかが誤っている場合は、誤っている記号と代わって入るものが最も適切な組み合わせを選択してください。A・Bともに正しい場合は、記号Cを選択してください。

決算時の責任準備金(事業年度末)については、保険業法施行規則によ

り、保険料積立金は(A)最低責任準備金の対象契約については(A)最低責任準備金、それ以外の契約については(B)平準純保険料式責任準備金を下回る

ことができないと定められている。ただし、保険会社が設立間もない場合

など特別の事情がある場合についてはこの限りではない。

7. A-基本
7. A-標準
7. B-平均保険料
7. B-自然保険料
7. C (A・Bともに正しい)

語群

7. 1.06
7. 1.33
7. 1.51
7. 1.89
7. 5.010
7. 6.015
7. 1.061,457
7. 1.061,646
7. 1.921,961
7. 1.941,180

47【配当準備金繰入】

次の文章について、下線部AまたはBのいずれかが誤っている場合と、A・Bともに正しい場合とがあります。AまたはBのいずれかが誤っている場合は、誤っている記号と代わって入るものが最も適切な組み合わせを選択してください。A・Bともに正しい場合は、記号Cを選択してください。

社員配当準備金等への繰り入れについては、保険業法において、剰余金から基金利息、損失てん補準備金および基金償却積立金への繰入額等を控除した金額の一定比率以上を積み立てることを(A)定款に定め、その比率が内閣府令で定める比率（同施行規則により(B)20%とされている）を下回ってはならないことが定められている。

- ☐ ア. A－保険約款
- ☐ イ. A－保険料及び責任準備金の算出方法書
- ☐ ウ. B－50%
- ☐ エ. B－80%
- ☐ オ. C（A・Bともに正しい）

48【アセット・シェア方式】

次の文章について、下線部AまたはBのいずれかが誤っている場合と、A・Bともに正しい場合とがあります。AまたはBのいずれかが誤っている場合は、誤っている記号と代わって入るものが最も適切な組み合わせを選択してください。A・Bともに正しい場合は、記号Cを選択してください。

配当金の割当方法のうちアセット・シェア方式は、(A)保険種類別に保険期間、年齢など契約条件を同一とする代表的契約について、実際の死亡率、利率、事業費率、継続率等に基づく各保険年度別のモデル収支計算を過去法的に行い、その収支残と年度末責任準備金とを比較して、その差額を基準に配当額を決定する方法で、(B)利源別配当方式による配当金のチェックにも用いられる。

- ☐ ア. A－契約日
- ☐ イ. A－保険料払込方法
- ☐ ウ. B－長期継続契約に対する配当
- ☐ エ. B－事前積立
- ☐ オ. C（A・Bともに正しい）

【生存率・生存数・平均余命・保険料計算】

文中の空欄【 1 】～【 5 】に入る最も適切な数値を選んでください。

(1)＜付表1＞の生保標準生命表2018（死亡保険用）（女）を用いて計算すると、

- ①60歳の女子が65歳まで生存する確率は、【 1 】である。（解答は小数第6位四捨五入）
- ②40歳の女子が10万人いる。10年後に生存している人数は、【 2 】人である。（解答は小数第1位四捨五入）
- ③109歳の女子の平均余命は、【 3 】年である。（計算過程および解答は小数第3位四捨五入）

(2)＜付表1＞の生保標準生命表2018（死亡保険用）（女）、＜付表2＞の複利表・複利現価表（年1.0%）を用いて計算すると、

- ①保険金300万円、女子55歳加入の1年定期保険の純保険料の計算において、死亡者全員分に対して支払われる保険金総額の現価は、【 4 】千円である。（解答は千円未満四捨五入）
- ②純保険料は、【 5 】円である。（解答は10円未満四捨五入）

語群

- ア. 0.97483
- イ. 0.97957
- ウ. 1.02
- エ. 1.49
- オ. 8,010
- カ. 8,050
- キ. 98,756
- ク. 98,936
- ケ. 772,277
- コ. 776,129

【 27 】 責任準備金の積立に関する法的規制について

次の文章のうち、誤っているものを1つ選んでください。

7. 責任準備金の計算に必要な積立方法や計算基礎については、保険業法や同施行規則に厳格に規定されており、金融庁による監督の重要な項目の1つとなっている。これは、適正な積立がなされない場合には、生命保険会社の経営に与える影響が非常に大きいためである。

4. 現在、決算時の責任準備金（事業年度末）については、保険業法施行規則において、決算期以前に収入した保険料を基礎として「保険料積立金」、「未経過保険料」、「払戻積立金」、「危険準備金」に区分して積み立てることとされている。

4. 生命保険会社の保険計理人は、自社の責任準備金が健全な保険計理に基づいて積み立てられているかどうかを確認し、その結果を配当の確認結果とあわせて意見書に記載して、株主総会または総代会に提出することが保険業法に定められている。

【 29 】 解約返戻金について

次の文章のうち、誤っているものを1つ選んでください。

7. 解約返戻金は、解約の場合だけでなく、契約者に契約継続の意思が全くなく失効した契約についても、契約者の請求に応じて支払われる。

4. 保険料の自動振替貸付と契約者貸付の限度基準は、現在、解約返戻金ではなく既払込保険料相当額が用いられている。

4. 解約返戻金は、払い込まれる保険料から、毎年の保険金の支払いおよび契約の締結・維持に必要な諸経費を差し引いた残額として、個々の契約についてあらかじめ定められた金額（約定価格）である。

【 28 】 契約変更および契約転換制度について

次の文章のうち、誤っているものを1つ選んでください。

7. 延長保険は、払済保険とは対照的に死亡保険に重点を置いて死亡保険金額は元契約と変わらないが、保険期間が短くなることもあり、満期時に受け取る保険金は必ずゼロになる。

4. 契約転換制度の転換方式のうち加入年齢方式（責任準備金差額払込み型）は、転換後契約の価格（保険料・責任準備金など）は転換前契約の加入年齢により計算するが、転換によって生じた責任準備金差額（不足額）は一時払半分割払（割賦払）とする方式である。

4. 契約転換制度の転換方式のうち、到達年齢方式（転換前責任準備金分割保険料充当型）は、転換後契約の保険料は転換時の到達年齢（保険年齢）によって計算するが、転換前契約の責任準備金をこの保険料（の一部）に分割充当する方式である。

【 30 】 契約者配当の意義と割当について

次の文章のうち、誤っているものを1つ選んでください。

7. 契約者配当金は、予定の保険費用（営業保険料）と実際に要した保険費用（実質保険料）との差額を調整するために、発生した剰余金を一定の基準で各契約に割り当てて分配するもので、過払いの保険料の割戻しに相当する性格をもつ。

4. 配当金の支払いを行わない無配当保険や5年ごと利益配当付保険では、保険料が通常の有配当保険より高くなるのが一般的である。

4. 契約者配当の割当方法が具備すべき主な条件には、①公平性、②弾力性、③実用性、④大衆性などがあり、これらのうち公平性と実用性の有無が基本的なものといえるが、互いに矛盾し合う側面もあり、その調和を実務面で考慮しなければならない。

<ここからは正誤を選ぶ問題です。>

31 [死亡率]

次の文章について、正しい場合には「正」、誤っている場合には「誤」を選んでください。

実際の人口統計に基づく死亡率を粗死亡率と呼ぶのに対し、数学的な技術を使って滑らかな傾向曲線にして求められた死亡率を補整後死亡率と呼んで区別している。

正

誤

32 [単利]

次の文章について、正しい場合には「正」、誤っている場合には「誤」を選んでください。

単利法における元金、(運用) 期間、利率、利息の関係は、「利息 = 元金 × 期間 × 利率」という式で表すことができる。

正

誤

33 [生命保険契約と年齢]

次の文章について、正しい場合には「正」、誤っている場合には「誤」を選んでください。

生命保険会社では、現在、契約年齢を通常の年齢の数え方と同じ切捨て方式(端数月はすべて切り捨てる)である「満年齢方式」のみを採用している。

正

誤

34 [終価]

次の文章について、正しい場合には「正」、誤っている場合には「誤」を選んでください。

複利計算による元利合計が終価であり、終価も現価と同様、元金の支払時点によって期始払、期央払、期末払の3つに分けられる。

正

誤

[25] 契約者配当金の分配・支払方法について

次の文章のうち、正しいものを1つ選んでください。

ア. 保険を買い増す方法

配当金を年払保険料として契約応当日に保険を買い増し(保険金を増額)する。

イ. 保険料と相殺する方法

契約応当日に始まる保険年度について、配当金を保険料払込回数にかかわらず、その年度の保険料にまとめて充当、相殺する。

ウ. 現金で支払う方法

月払契約で契約応当日の第1目目から第6目目までの保険料が払い込まれたときに、第7目目に配当金を現金で一括支払いする。

<ここからは誤っているものを選ぶ問題です。>

[26] 営業保険料について

次の文章のうち、誤っているものを1つ選んでください。

ア. 純保険料に上乗せする付加保険料の計算に使用する予定事業費率の決め方には、保険金に比例させる方式、営業保険料(または純保険料)に比例させる方式、双方を組み合わせる方式の3方式のいずれかである。

イ. 営業保険料の計算において、保険種類によって異なる計算基礎(予定死亡率など)を用いたり、保険料率を調整したりする場合は、保険種類間でアンバランスが生ずることがあるので、状況に応じて調整を行う必要がある。

ウ. 生命保険会社がどの保険種類、加入者階層(保険市場)に重点を置いているかによって、営業保険料の算定に変化をつけることがある。

【 23 】 予定事業費の現価について

女子 50 歳加入、保険期間 5 年、保険金 200 万円の養老保険の予定事業費の現価について、正しい数値を 1 つ選んでください（計算過程および計算結果は千円未満四捨五入）。計算にあたっては、＜付表 1＞の生保標準生命表 2018（死亡保険用）（女）を使用してください。なお、保険料払込免除のための保険料は考慮しないものとし、予定事業費率は保険金比例の予定新契約費（保険金千円につき 25 円）のみとします。

ア. 4,852,746 千円

イ. 4,867,350 千円

ウ. 4,876,950 千円

【 24 】 養老保険の年払営業保険料について

女子 50 歳加入、保険期間 5 年、保険金 200 万円の養老保険の年払営業保険料について、正しい数値を 1 つ選んでください（計算過程の収入は小数第 1 位四捨五入、支出は千円未満四捨五入、計算結果は 10 円未満四捨五入）。計算にあたっては、＜付表 1＞の生保標準生命表 2018（死亡保険用）（女）、＜付表 2＞の複利表・複利原価表（年 1.0%）を使用してください。

ア. 399,360 円

イ. 400,170 円

ウ. 402,170 円

35 【保険料の計算原理】

次の文章について、正しい場合には「正」、誤っている場合には「誤」を選んでください。

自然保険料とは、毎年の保険料を一定額として、1 年ごとの比較では各年の保険料収入が保険金支払に見合わなくても、保険期間が満了した際に全体の収支がつりあうように計算された保険料である。

正

誤

36 【1 年定期保険の純保険料】

次の文章について、正しい場合には「正」、誤っている場合には「誤」を選んでください。

予定利率を一定として各年齢ごとに 1 年定期保険の純保険料を計算すると、予定死亡率の動きを反映したものとなる。

正

誤

37 【チルメル式保険料積立金】

次の文章について、正しい場合には「正」、誤っている場合には「誤」を選んでください。

チルメル式保険料積立金では、初年度の営業保険料に占める付加保険料の割合を多くすることで初年度にかかる事業費（新契約費）の財源を確保する代わりに、次年度以降の一定期間（チルメル期間）は、純保険料の割合を多くすることによって、初年度に不足した純保険料分の積立てを補っている。

正

誤

38 【剰余金の発生額】 次の文章について、正しい場合には「正」、誤っている場合には「誤」を選んでください。

費差益は責任準備金の積立方式をどれにするかによって大きく影響を受ける。契約当初の初年度は一般に新契約費がかさむので、純保険料式で評価した場合には費差損を生ずることが多く、経過年数が深まるにつれて費差益が生じやすくなる。

正
誤

39 【変動保険の用語】 次の文章について、正しい場合には「正」、誤っている場合には「誤」を選んでください。

変動保険の変動保険金額は、毎月始めに、その時点での積立金と表定責任準備金との差額と、当該月始時点で計算された一時払保険料を用いて計算される。

正
誤

<ここからは正しいものを選ぶ問題です。>

【 21 】 死亡保険金の現価について
女子 50 歳加入、保険期間 5 年、保険金 200 万円の養老保険の、5 年間に支払う死亡保険金の現価について、正しい数値を 1 つ選んでください (計算過程および計算結果は千円未満四捨五入)。計算にあたっては、<付表 1>の生保標準生命表 2018 (死亡保険用) (女)、<付表 2>の複利表・複利原価表 (年 1.0%) を使用してください。

ア. 2,139,522 千円
イ. 2,196,000 千円
ウ. 2,272,231 千円

40 【団体定期保険の保険料】

次の文章について、正しい場合には「正」、誤っている場合には「誤」を選んでください。

団体定期保険では、主たる被保険者数が一定人数以上で、死亡支払率が低率であること等所定の条件を満たしている優良被保険団体については、更新時の保険料率算定の際、純保険料率を一定の範囲内に軽減した特別の保険料率を適用することができる。

正
誤

【 22 】 満期保険金の現価について

女子 50 歳加入、保険期間 5 年、保険金 200 万円の養老保険の、5 年後に支払う満期保険金の現価について、正しい数値を 1 つ選んでください (計算結果は千円未満四捨五入)。計算にあたっては、<付表 1>の生保標準生命表 2018 (死亡保険用) (女)、<付表 2>の複利表・複利原価表 (年 1.0%) を使用してください。

ア. 183,025,903 千円
イ. 183,520,665 千円
ウ. 183,992,592 千円

【払済保険】

文中の空欄【16】～【20】に入る最も適切なものを選んでください。

保険料払込期間中に保険料の払い込みが困難となった場合、【16】を利用して契約の存続を図る方法の1つが払済保険への変更である。

払済保険の保険金（払済保険金）は、変更時の元契約の【17】保険期間を保険期間とし、【18】を加入年齢とする養老保険（または終身保険等）の一時払保険料（ただし、【19】は組み込まない）に【16】を振り替えて新しく計算した保険金である。なお、この際、元契約と【20】基礎率を用いる。

語群

- ア. 維持費
- イ. 同じ
- ウ. 解約返戻金
- エ. 既経過
- オ. 既払込保険料
- カ. 異なる
- キ. 残存
- ク. 新契約費
- ケ. そのときの被保険者の到達年齢
- コ. 元契約加入時の被保険者の加入年齢

<ここからは適切な組み合わせを選ぶ問題です。>

41【死亡表の種類】

次の文章について、下線部AまたはBのいずれかが誤っている場合と、A・Bともに正しい場合とがあります。AまたはBのいずれかが誤っている場合は、誤っている記号と代わって入るものが最も適切な組み合わせを選択してください。A・Bともに正しい場合は、記号Cを選択してください。

経験生命表について、選択効果があると考えられる期間、例えば3年をそれとすれば、加入後3年までのデータを除いて加入後4年以降のみを対象とした(A)総合表を作成することがあるが、これを「(B)終局表」あるいは「3年せつ断(A)総合表」と呼んでいる。

- ア. A－簡易生命表
- イ. A－国民表
- ウ. B－選択表
- エ. B－会社表
- オ. C（A・Bともに正しい）

42【保険計理の基礎】

次の文章について、下線部AまたはBのいずれかが誤っている場合と、A・Bともに正しい場合とがあります。AまたはBのいずれかが誤っている場合は、誤っている記号と代わって入るものが最も適切な組み合わせを選択してください。A・Bともに正しい場合は、記号Cを選択してください。

同一性・同一年齢の多数の加入者が同じ種類の死亡保険に加入すると、(A)射幸性の法則によって、全保険期間にわたって加入者の死亡状況が推定でき、その死亡者数と運用によって得られる利息を考慮したうえで、収入保険料総額と支出する保険金（および諸経費）総額との収支のバランスを図る原則を(B)収支相等の原則という。

- ア. A－ベスティング
- イ. A－大数
- ウ. B－衡平性
- エ. B－ハーディ
- オ. C（A・Bともに正しい）

43 [純保険料の変化]

次の文章について、下線部AまたはBのいずれかが誤っている場合と、A・Bともに正しい場合とがあります。AまたはBのいずれかが誤っている場合は、誤っている記号と代わって入るものが最も適切な組み合わせを選択してください。A・Bともに正しい場合は、記号Cを選択してください。

純保険料の計算基礎において、予定死亡率を高く、予定利率を低くした場合、定期保険の純保険料は(A) 高くなる。また、養老保険の純保険料は(B) 低くなる。

- ア. A－変わらない
- イ. A－低くなる
- ウ. B－変わらない
- エ. B－高くなる
- オ. C (A・Bともに正しい)

44 [責任準備金の積立]

次の文章について、下線部AまたはBのいずれかが誤っている場合と、A・Bともに正しい場合とがあります。AまたはBのいずれかが誤っている場合は、誤っている記号と代わって入るものが最も適切な組み合わせを選択してください。A・Bともに正しい場合は、記号Cを選択してください。

保険期間 10 年の (A) 定期保険で (B) 自然保険料の場合、責任準備金 (保険料積立金) の積み立てが必要となる。

- ア. A－生存保険
- イ. A－養老保険
- ウ. B－平準保険料
- エ. B－割増保険料
- オ. C (A・Bともに正しい)

[死亡表の種類]

文中の空欄【11】～【15】に入る最も適切なものを選んでください。

死亡表の種類は、その分類の仕方によって異なり、例えば、国民あるいは特定地域の人口を対象として、その人口統計による死亡状況を表した「国民生命表」と、生命保険会社などの保険事業者集団が被保険者集団の死亡統計に基づいて作成した【11】とに分けられる。

「国民生命表」は、5年ごとの国勢調査による男女別、年齢別人口とその時期の人口動態統計による男女別、年齢別死亡数を材料にして精緻な統計処理によって作成される【12】と、毎年の人口動態統計の死亡数と推計人口を用い、簡略化された計算によって算定された死亡率を表示する「簡易生命表」とに分けられる。

【11】は、経過年数による区別により、【13】と「選択表」とに分けられる。

【13】は、保険契約加入後の経過年数を考慮しないで全期間を対象に年齢別にまとめた死亡表であるが、生命保険会社では被保険者について医的診査や告知書などの方法で健康体を選択するので、一般には「国民生命表」よりも低い死亡率を示す。

しかし、加入後、年数が経過するにつれてそれらの【14】が次第に小さくなり、死亡率が上昇するのが普通であり、その変化を追跡できるように【15】、経過年数別に死亡率を表示したものを「選択表」という。

語群

- ア. 完全生命表
- イ. 基礎生命表
- ウ. 経験生命表
- エ. 告知効果
- オ. 全体生命表
- カ. 選択効果
- キ. 総合表
- ク. 地域別
- ケ. 統一表
- コ. 年齢別

1	イ	1 点	31	正	1 点
2	キ	1 点	32	正	1 点
3	ウ	1 点	33	誤	1 点
4	コ	1 点	34	正	1 点
5	カ	1 点	35	誤	1 点
6	カ	1 点	36	正	1 点
7	ク	1 点	37	正	1 点
8	ウ	1 点	38	正	1 点
9	イ	1 点	39	誤	1 点
10	コ	1 点	40	正	1 点
11	ウ	1 点	41	オ	3 点
12	ア	1 点	42	イ	3 点
13	キ	1 点	43	工	3 点
14	カ	1 点	44	ウ	3 点
15	コ	1 点	45	ア	3 点
16	ウ	1 点	46	イ	3 点
17	キ	1 点	47	オ	3 点
18	ケ	1 点	48	オ	3 点
19	ク	1 点	49	ア	3 点
20	イ	1 点	50	ウ	3 点
21	ア	4 点			
22	イ	4 点			
23	ウ	4 点			
24	イ	4 点			
25	ウ	4 点			
26	ア	4 点			
27	ウ	4 点			
28	ア	4 点			
29	イ	4 点			
30	イ	4 点			

